小型部品から超大型ロールまで「お客様の依頼を形にする」

株式会社桜井鉄工所

超大型ロール、船舶用シャフトから小型部品まで一貫生産

桜井鉄工所は、創業以来、機械部品の加工や製作に携わってきた。船舶のエンジン主軸をはじめ各種シャフトの製造や産業ロールの鏡面加工を行っている。取り扱い品種は超大型ロールから小型部品まで多岐にわたる。直径1500㎜、長さ8000㎜のロール研削や長さ12000㎜のNCロール研削が可能で、その守備範囲は広い。材料の調達から旋盤加工、研削加工、バランス修正から検査、仕上げ、納品用のトレーラーまで所有する等、顧客の様々なニーズに対応できる一貫生産体制が自慢だ。

「当社は図面だけを渡され、あとはお任せというケースも多いですよ。納期やコスト、工程調整等すべて自社で行っています。任せていただいた限りは、NOとは言わない。全力で仕上げて納品しています」と語る桜井伸也社長の言葉は心強い。船舶関係等特殊な大型シャフト類は、「桜井鉄工所しかいない」と引き合いが多く、納期待ちが起こるほどだ。それでも仕上がりにはこだわり、ロール類の真円度・円筒度・振れは0・003㎜、面粗度は0・05sと高い加工精度を誇る。

扱う素材が豊富なのも、同社の特長だろう。ロール類は鉄にとどまらず合金、チタン、ガラスやゴムも扱い、ファインセラミックやタングステンカーバイト等の新素材にも柔軟に対応している。難加工素材にはダイヤモンド砥石で加工する等、最新技術の導入に余念がないのが強みだ。

QCサークルで工程や作業内容を改善

「当社は○○を作る会社というよりは、お客様の依頼を形にする会社だと思っています」と桜井社長が言うように、顧客の注文は様々だ。「桜井鉄工所ならできると思って来た、と言われることも多い」という言葉に、信頼と満足度が表れている。特に同社は、原子力関係や大手メーカーからの依頼が多いのが特徴だ。企業秘密を堅守する高いモラルと、わずかなミスも許されない完成度が求められる。それに十分に応えているからこそ、リピートも多いのだ。

だが、それで満足することはしない。「ものづくりは作業をする人によって仕上がりが違ってくるものです。それをどう解決するのか、当社では技術の継承にも力を入れています」。20年間続けているQCサークルでは、工程や作業内容の改善を積み重ねている。グループ内でどこが悪かったのか、を考えることで、問題を共有し従業員同士が切磋琢磨する風土が育っている。

作業効率だけでなくコスト面での見直しも行い、戦力分析をしているのが強みだ。材料調達から、仕上げまでどうすればいい結果が出るかを日々研究し続けている。そこには「我以外みな師なり」を座右の銘にする桜井社長の心意気があった。現状に満足しない謙虚さと元気を基に、社員が一丸となって邁進している。

主な事業内容

ロール・製鉄製鋼用機械部品・長尺シャフト・石油・製紙・印刷・船舶・化学等の各種産業用機械部品、原子力ポンプ軸等の原子力関係重要部品の製造 等

株式会社桜井鉄工所

Company Profile

住　所／〒557-0063
大阪府大阪市西成区南津守5-4-9
創　業／昭和16年10月
設　立／昭和25年11月
資本金／2,500万円
従業員／53名（平成21年1月現在）
ＴＥＬ／06-6659-3600
ＦＡＸ／06-6659-3615

大阪18

http://www.kisweb.ne.jp/sakurai/

桜井伸也さん
代表取締役社長